



園だより



2025年12月1日

末長こぐま保育園

辻 敦美

11月は、気持ちの良い小春日和の日が多く過ごしやすい陽気でしたね。あっという間に、園庭の銀杏の葉も綺麗な色にかわり、そして、頬にあたる風が冷たくなり、季節は秋から冬へと移りかわるのを感じます。先月は、幼児クラスの運動会が行われました。運動会では、お子様の成長を感じながらクラスみんなで活動することの楽しさ、達成感を味わう様子をご覧いただきましたが、何よりお子さんとのふれあいを大切にしました。保護者の皆様の温かい拍手や眼差しが、子どもたちの力となり、そして、一人一人が輝いていました。今月は乳児クラスの親子で遊ぼう会がありますが、大好きなお父さんお母さんと楽しい時間が過ごせるような活動を考えておりまして、短い時間ではありますが、お子さんとたくさん触れ合い、思い出の一つになりますと幸いです。また、この日は、乳児クラス、5歳児クラスの今年度最後の懇談会もありますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



～「ネガティブ・ケイパビリティ」から感じたこと～

「ネガティブ・ケイパビリティ」と「保育」という記事が目に止まりました。この言葉の概念は、「簡単に答えが見つからない問題」や「先が見えない不安定な状況」において、葛藤しながらも焦らず向き合っていく力を意味するということだそうです。この考え方は、保育の実践で重要視されているとありました。たしかに「目の前の子どもにちゃんと向き合っているか」「子どもたち一人一人ともっと深く関わりたい」という葛藤は常に直面し、その度に落ち込んだり悩んだりの日々です。しかし、このネガティブ・ケイパビリティという考え方でいうと、保育の中ですぐに答えがでなくても葛藤や悩むことを肯定して少しずつ前へ進むことが大切だということなのでしょう。子どもを理解することはとても重要ですが完全に理解することはできません。しかし、子どもの世界に入り一緒に時間を過ごすからこそ何かヒントになることを見つけたり気づいたりすることができ、その子を理解することに近づくことができると思えるとあらためて思うことができました。これからも子どもたちが過ごしている場所へ足を運びたいと思います。また、子どもたちが何か難しさを感じているときは、諦めずに粘り強く向き合うことができるよう「ゆっくりでいいよ」「頑張る過程が大事で、その気持ちは素敵のことだよ」と投げかけながら一緒に向き合っていきたいと思います。保護者の皆様も仕事や育児で様々な悩みや葛藤があり、ストレスも多いのではないかと思います。「ネガティブ・ケイパビリティ」の言葉、心の片隅に止めてくださいね。

～今月の行事予定～

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 4日（木） | 魚の解体ショー
(きりん組・ぞう組) |
| 5日（金） | 園医健診 |
| 12日（金） | えいごで遊ぼう
(幼児クラス) |
| 13日（土） | 親子で遊ぼう会・懇談会
(乳児クラス)
きりん組懇談会 |
| 19日（金） | 避難訓練 |
| 24日（水） | クリスマス会 |
| 25日（木） | 誕生会 |
| 26日（金） | 不審者訓練 |

*来月、1月17日（土）はうさぎ組・ぞう組の懇談会があります。後日、お手紙を配信いたしますので、ご確認ください。



★年末年始について

12月29日～1月3日まで保育園は年末年始のお休みとなります。新年は、1月5日（月）から始まります。尚、お休み期間の緊急連絡先は、下記の園携帯にお願いいたします。

※園携帯番号

今年も保育園の運営に多大なるご理解、ご協力をありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。新年、子どもたち、保護者の皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

★運動会アンケートについて

幼児クラスの保護者の皆様、お忙しい中アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。たくさんの温かい言葉を胸に、日々子どもたちが安心して過ごせるよう努めてまいります。